



令和9年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和8年8月12日

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム
コード番号 3096 URL <https://www.ocean-system.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勝人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 本間 武士

TEL 0256-33-3987

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和9年3月期第1四半期の連結業績(令和8年4月1日～令和8年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
9年3月期第1四半期	24,999	4.2	638	0.9	669	1.2	426	8.8
8年3月期第1四半期	23,997	7.3	633	4.2	661	6.0	467	8.6

(注) 包括利益 9年3月期第1四半期 343百万円 (39.8%) 8年3月期第1四半期 571百万円 (38.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
9年3月期第1四半期	45.53	—
8年3月期第1四半期	49.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
9年3月期第1四半期	24,832	12,305	49.6	1,319.81
8年3月期	25,138	12,141	48.3	1,294.97

(参考) 自己資本 9年3月期第1四半期 12,305百万円 8年3月期 12,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
9年3月期	—	—	—	—	—
9年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和9年3月期の連結業績予想(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,300	6.3	1,002	0.3	1,045	1.8	717	0.4	76.47
通期	102,600	6.8	2,169	21.4	2,254	18.6	1,513	32.2	161.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

9年3月期1Q	10,833,000 株	8年3月期	10,833,000 株
---------	--------------	-------	--------------

期末自己株式数

9年3月期1Q	1,509,050 株	8年3月期	1,457,150 株
---------	-------------	-------	-------------

期中平均株式数 (四半期累計)

9年3月期1Q	9,367,865 株	8年3月期1Q	9,413,669 株
---------	-------------	---------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、継続的な賃上げなどを背景に雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の継続による消費者の生活防衛意識の高まりや、中東情勢を背景とした資源・エネルギー価格の高止まりなどの影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開する食品小売業界におきましては、実質賃金に改善の動きが見られる一方、物価上昇の継続により消費者の節約志向は根強く、原材料価格や包装資材価格の上昇に加え、人手不足に伴う人件費の増加など、厳しい経営環境が続いております。

こうした状況のもと、当社グループは、社会環境の変化、働き方の多様化、環境問題への対応、テクノロジーの進展といった課題に対応するため、令和9年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画を推進しております。商品・サービスの品質向上、業務効率化及びデジタル化の推進、多様化する消費者ニーズへの対応、新業態の展開ならびに取引先の拡大を通じて、企業価値の向上に取り組みました。また、(株)ハイデイ日高とのフランチャイズ契約に基づき、令和8年4月に「熱烈中華食堂日高屋新潟駅万代口店」（新潟市中央区）をオープンしました。メディア露出の効果もあり、来店客数は想定を上回って推移し、売上高は当初計画を大きく上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は249億99百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は6億38百万円（前年同期比0.9%増）、経常利益は6億69百万円（前年同期比1.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億26百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(スーパーマーケット事業)

スーパーマーケット事業につきましては、競合他社の出店が相次ぐなか、重点商品の露出を高めた売場づくりや販促活動を展開し、「活気」「鮮度感」「お得感」のある店舗づくりを推進しました。また、卵、精肉、青果及びドライ部門を中心に価格訴求を強化するとともに、月初の週末に実施する「大総力祭」セールを再開するなど、お買い得感の訴求と集客強化に取り組みました。

この結果、来店客数は前年同期を下回ったものの、客単価が上昇したことから、売上高は前年同期並みとなりました。一方で、競争力強化を目的とした価格訴求の実施により、売上総利益率は低下しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は69億95百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は1億98百万円（前年同期比16.8%減）となりました。

(業務スーパー事業)

業務スーパー事業につきましては、月間特売やフランチャイザー主催の「総力祭」や「タイフェア」などのセールを実施し、他社との差別化による買上点数の増加に取り組みました。また、茨城県県南地域の6店舗合同で販促チラシのポスティングなど、エリア一帯での販売強化に取り組んだ結果、来店客数・客単価ともに前年同期を上回り、売上高は堅調に推移しました。

店舗展開につきましては、「業務スーパー牛久店」（茨城県牛久市）において、改装のため一時休業し、買い回りしやすい売場へ刷新したことにより、売上高は伸長しました。また、群馬・富山エリアでは青果部門のテナント化を進め、売場の魅力向上と店舗運営の効率化を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は139億28百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は5億85百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

(弁当給食事業)

事業所向け宅配弁当につきましては、商品の品質向上に取り組むとともに、専用冷凍庫・冷蔵庫を活用した営業活動を推進しましたが、中食市場との競合激化や喫食者ニーズの多様化の影響により、販売食数は伸び悩みました。一方で、給食事業者向け冷凍惣菜の受託製造は、新商品の投入などにより堅調に推移しました。

惣菜等の受託製造を行う千葉工場につきましては、一部弁当及び惣菜の受注が減少したことに加え、包装資材価格上昇の影響を受け、売上高、利益ともに前年同期を下回りました。

社員食堂や学校給食等の運営受託事業につきましては、新規受託先の獲得や既存施設の契約更改の影響により、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は27億円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益は94百万円（前年同期比22.4%増）となりました。

(食材宅配事業)

福祉施設等へ食材販売を行う「ヨシケイキッチン」につきましては、契約施設数が増加し、売上高が堅調に推移しました。

主力である一般家庭向け食材キットにつきましては、当期より営業戦略部署を立ち上げ、定期的にミーティングを開催するとともに、折り込み広告の活用強化など食数の拡大に向けた営業活動を推進しました。販売総セット数は減少したものの、原価率の改善により収益性は向上しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は12億3百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益は7百万円（前年同期はセグメント損失0百万円）となりました。

(旅館、その他事業)

旅館事業につきましては、行楽シーズンのバスツアー利用客が堅調に推移し、メニューを一新したいけすレストランの売上高は増加したものの、宿泊利用については低調に推移しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は1億71百万円（前年同期比40.8%増）、セグメント損失は24百万円（前年同期はセグメント損失24百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億6百万円減少し、248億32百万円となりました。これは主に、流動資産のその他に含まれる前払費用が1億95百万円、商品が1億81百万円増加しましたが、現金及び預金が4億12百万円、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が1億9百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億70百万円減少し、125億26百万円となりました。これは主に、未払法人税等が1億81百万円、賞与引当金が1億70百万円、長期借入金が95百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億64百万円増加し、123億5百万円となりました。これは主に、利益剰余金が3億32百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.3ポイント上昇し、49.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、令和8年5月14日に公表しました業績予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。今後、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,719,739	4,307,385
売掛金	3,525,057	3,486,499
商品	2,472,603	2,653,629
原材料及び貯蔵品	196,919	225,700
その他	489,127	627,778
貸倒引当金	△4,324	△4,377
流動資産合計	11,399,122	11,296,614
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,653,123	5,577,302
土地	2,983,767	2,986,465
その他（純額）	1,426,131	1,449,777
有形固定資産合計	10,063,022	10,013,544
無形固定資産		
のれん	586	396
その他	262,879	255,402
無形固定資産合計	263,466	255,799
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	218,601	216,787
その他	3,204,421	3,059,670
貸倒引当金	△10,419	△10,222
投資その他の資産合計	3,412,603	3,266,235
固定資産合計	13,739,093	13,535,579
資産合計	25,138,216	24,832,194
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,293,525	5,376,067
短期借入金	724,876	645,056
リース債務	221,105	211,438
未払法人税等	351,334	169,640
賞与引当金	284,230	113,795
資産除去債務	4,444	4,464
その他	2,388,391	2,358,890
流動負債合計	9,267,908	8,879,353
固定負債		
長期借入金	1,809,624	1,714,590
リース債務	452,899	457,442
役員退職慰労引当金	190,300	196,100
資産除去債務	971,899	974,903
その他	304,162	303,955
固定負債合計	3,728,884	3,646,991
負債合計	12,996,793	12,526,345

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	11,701,902	12,034,634
自己株式	△1,223,068	△1,308,859
株主資本合計	11,647,325	11,894,266
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	378,190	302,705
退職給付に係る調整累計額	115,906	108,876
その他の包括利益累計額合計	494,097	411,582
純資産合計	12,141,423	12,305,848
負債純資産合計	25,138,216	24,832,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
売上高	23,997,111	24,999,551
売上原価	18,722,386	19,478,368
売上総利益	5,274,724	5,521,182
販売費及び一般管理費	4,641,485	4,882,491
営業利益	633,238	638,690
営業外収益		
受取利息	20	2,744
受取配当金	226	108
受取家賃	11,930	12,296
その他	23,056	27,546
営業外収益合計	35,234	42,696
営業外費用		
支払利息	5,753	9,043
その他	1,004	2,658
営業外費用合計	6,758	11,702
経常利益	661,714	669,684
特別利益		
固定資産売却益	918	—
受取補償金	—	22,829
特別利益合計	918	22,829
特別損失		
固定資産除却損	3,632	3,660
災害による損失	—	32,198
その他	1,702	75
特別損失合計	5,334	35,934
税金等調整前四半期純利益	657,297	656,580
法人税、住民税及び事業税	108,636	140,684
法人税等調整額	81,220	89,404
法人税等合計	189,856	230,089
四半期純利益	467,441	426,490
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	467,441	426,490

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
四半期純利益	467,441	426,490
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	107,620	△75,485
退職給付に係る調整額	△3,726	△7,029
その他の包括利益合計	103,894	△82,515
四半期包括利益	571,335	343,975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	571,335	343,975
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	6,968,821	12,987,575	2,704,258	1,214,318	122,136	23,997,111	—	23,997,111
セグメント間の内部 売上高又は振替高	569	499	140,390	—	1,019	142,479	△142,479	—
計	6,969,391	12,988,074	2,844,649	1,214,318	123,156	24,139,590	△142,479	23,997,111
セグメント利益 又は損失(△)	238,768	526,950	77,313	△92	△24,219	818,720	△185,481	633,238

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△185,481千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△185,460千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	スーパー マーケット 事業	業務 スーパー 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	旅館、 その他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	6,995,442	13,928,458	2,700,516	1,203,200	171,933	24,999,551	—	24,999,551
セグメント間の内部 売上高又は振替高	522	352	124,267	—	1,009	126,152	△126,152	—
計	6,995,964	13,928,811	2,824,784	1,203,200	172,943	25,125,703	△126,152	24,999,551
セグメント利益 又は損失 (△)	198,718	585,181	94,597	7,914	△24,964	861,446	△222,756	638,690

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△222,756千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△222,769千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
減価償却費	255,392千円	266,729千円
のれんの償却額	450	190